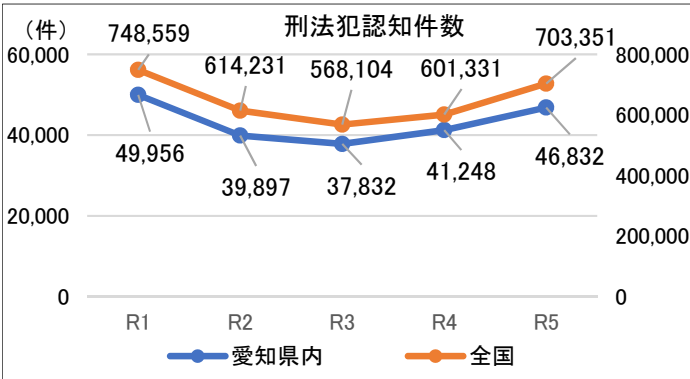


# 令和5年中の刑法犯の情勢

## 1 刑法犯認知件数の推移



令和5年中の愛知県内における刑法犯認知件数は4万6,832件(前年比+5,584件、+13.5%)

### 【参考】

令和5年中の全国における刑法犯認知件数は70万3,351件(前年比+10万2,020件、+17.0%)

## 【主な罪種の推移】

### 【侵入盗関係】

令和5年中の侵入盗認知件数は2,981件(前年比+423件、+60.5%)

令和5年中の住宅対象侵入盗認知件数は1,292件(前年比+230、+21.7%)

令和5年中の住宅対象以外の侵入盗認知件数は1,689件(前年比+193件、+12.9%)

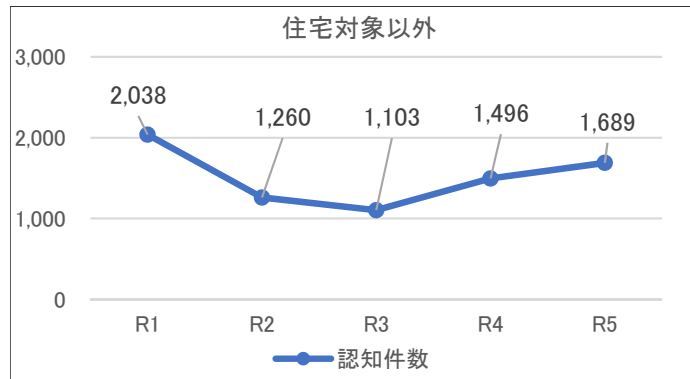
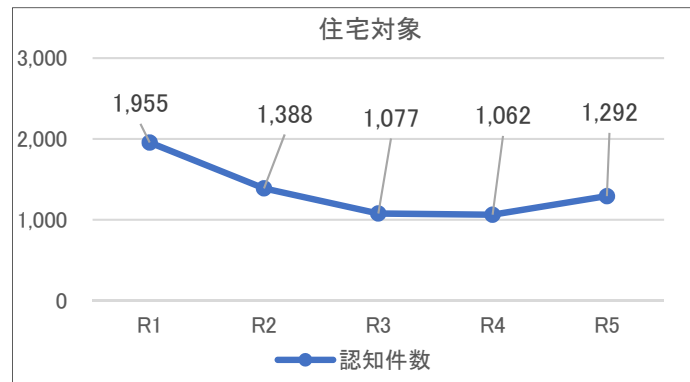
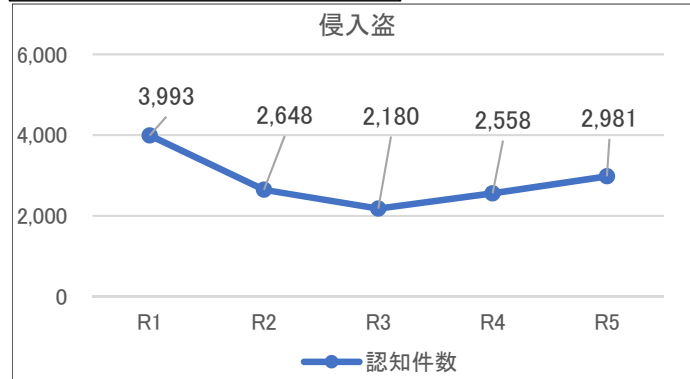
### 【自動車盗】

令和5年中の自動車盗認知件数は698件(前年比-186件、-21.0%)

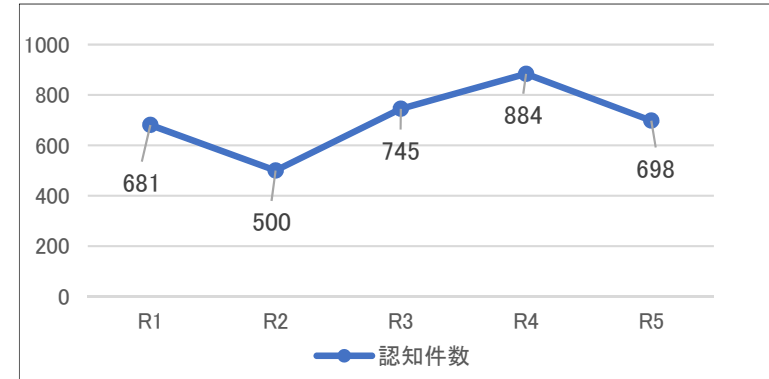
### 【自転車盗】

令和5年中の自転車盗認知件数は11,234(前年比+2,580、29.8%)

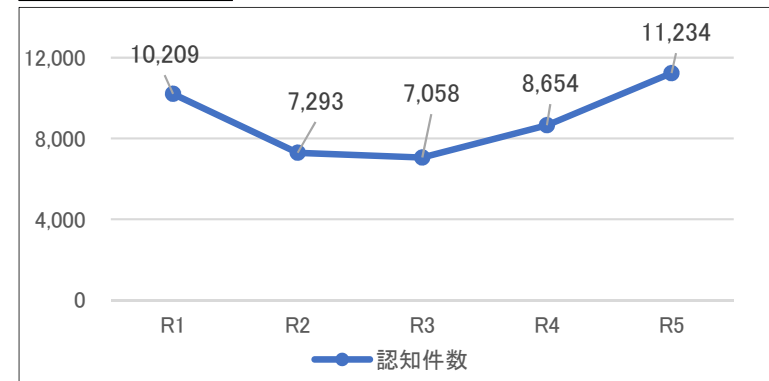
## 2 侵入盗認知件数の推移



## 3 自動車盗

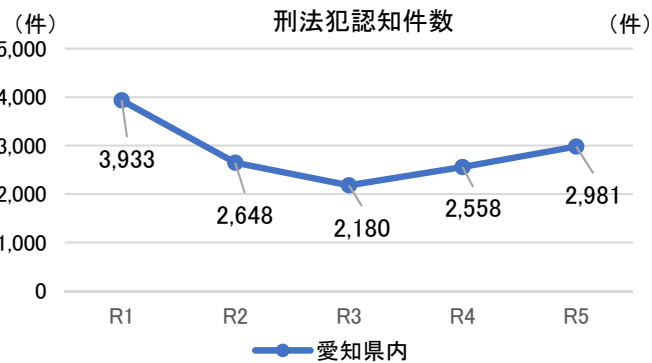


## 4 自転車盗



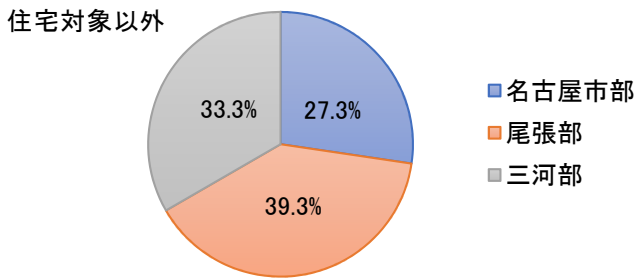
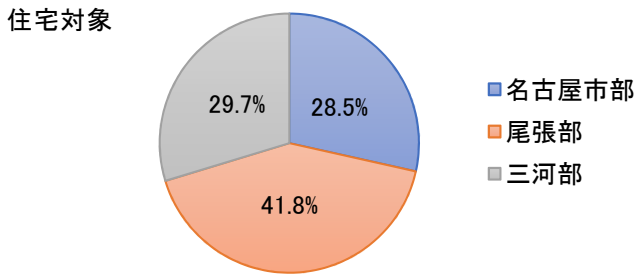
# 侵入盗

## 1 侵入盗認知件数の推移



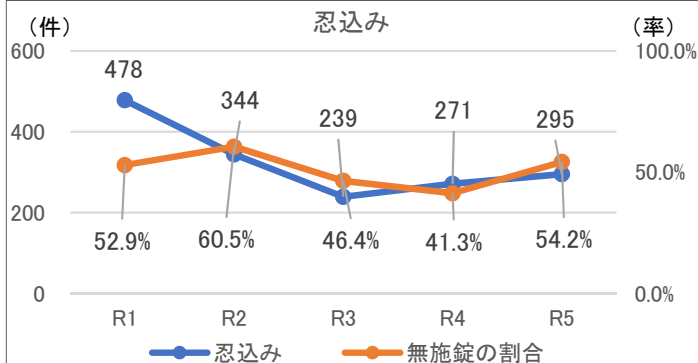
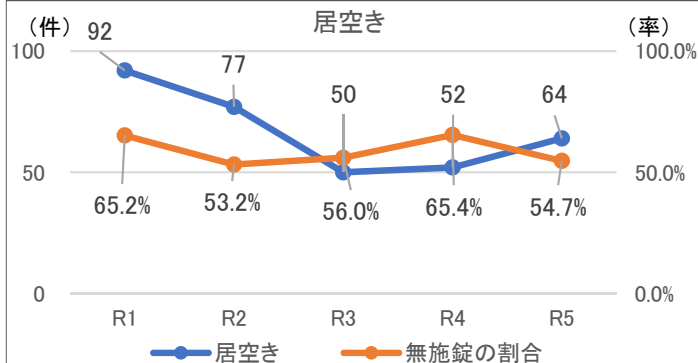
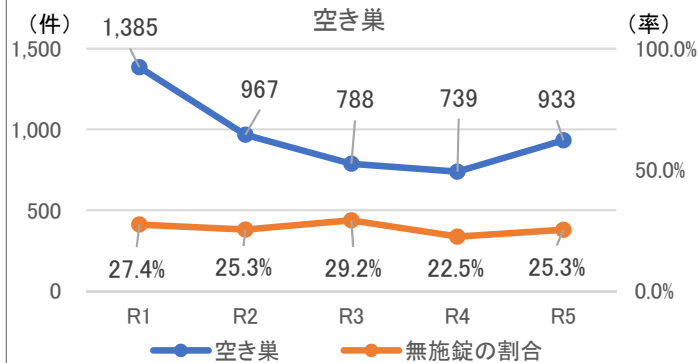
令和5年中の愛知県内における侵入盗認知件数は2,981件(前年比+423件、+60.5%)

## 2 侵入盗地域別被害の割合



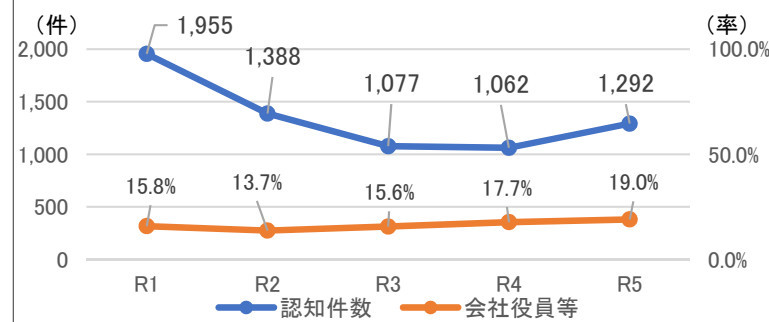
住宅対象、住宅対象以外共に尾張部が全体の約4割である。住宅対象以外では、住宅対象に比べ、三河部の割合が高くなる。

## 3 住宅対象侵入盗における無施錠率の推移



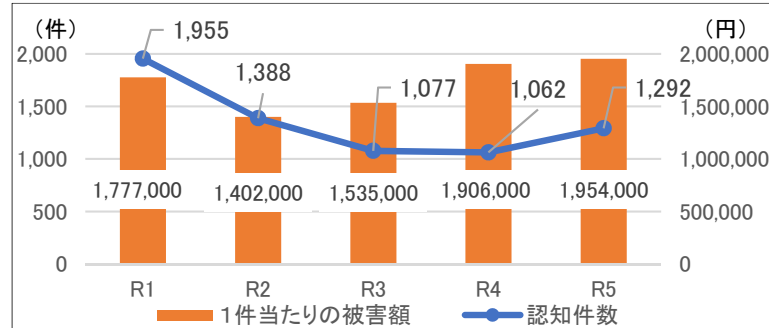
空き巣における無施錠率は25%前後で推移している。一方で、居空きでは50%以上、忍込みでは50%前後で無施錠率が推移している状況である。

## 4 住宅対象侵入盗における会社等役員及び自営業主の割合



認知件数の増減はある一方で、会社役員、団体役員、自営業主等の割合は増加傾向にある。

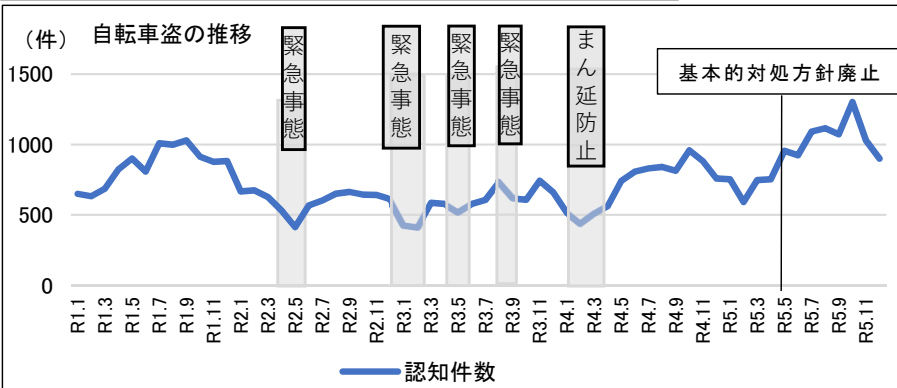
## 5 住宅対象侵入盗被害における1件当たりの被害額の推移



1件当たりの被害額が高くなってきている。高所得者層が狙われていることが要因と考えられる。

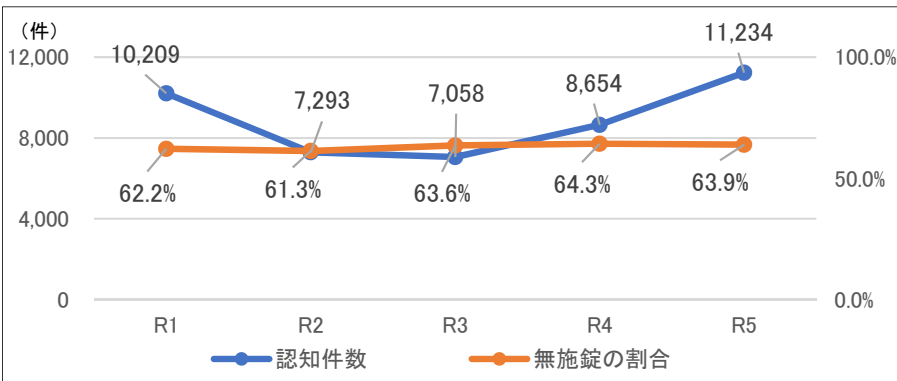
# 自転車盗

## 1 令和元年以降の自転車盗認知件数の推移



新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための行動抑制が解除されて以降、被害の増加が見られる。また、基本的対処方針の廃止以降は、令和元年と比較しても増加が見られる。

## 2 自転車盗認知件数における無施錠率の推移



被害については増減があるものの、無施錠率については約6割で推移している。

## 3 年齢別の認知件数と無施錠率

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
認知件数	98	4,458	3,344	1,260	811	608	296	257	102
無施錠率	78.6%	73.2%	62.7%	51.9%	51.3%	51.3%	52.0%	59.1%	56.9%

10歳未満及び10代で無施錠率が7割を超えている。一方で、30代から60代までは無施錠率が約5割である。

## 4 年齢別の被害場所と無施錠率の関係

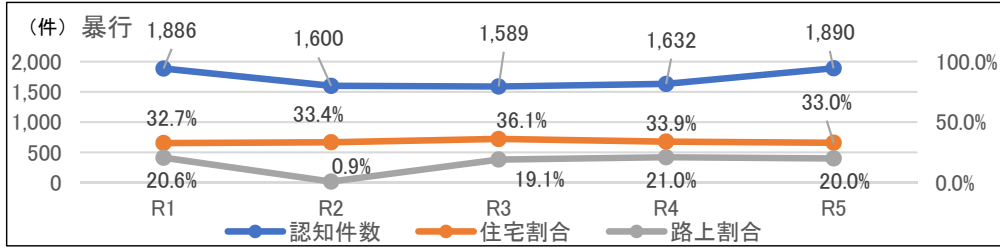
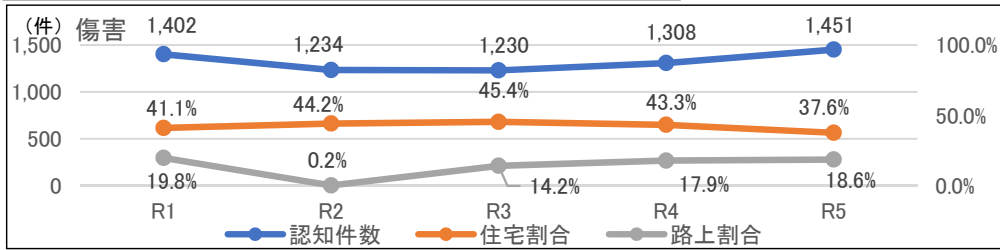
	一戸建て	共同住宅	駐車場	駐輪場	店舗・会社等	道路上	その他
10歳未満	90.0%	71.4%	—	66.7%	80.0%	90.9%	83.3%
10代	82.2%	68.4%	71.1%	69.0%	77.2%	60.2%	74.1%
20代	80.8%	59.7%	55.6%	58.6%	68.5%	59.3%	54.7%
30代	79.0%	54.2%	50.0%	40.1%	52.0%	44.8%	42.9%
40代	75.4%	47.3%	42.9%	42.9%	58.5%	44.8%	57.1%
50代	71.8%	44.6%	37.5%	35.5%	58.2%	52.9%	66.7%
60代	69.4%	49.1%	60.0%	41.7%	52.0%	50.0%	75.0%
70代	72.7%	48.9%	40.0%	20.0%	63.6%	75.0%	33.3%
80歳以上	73.9%	52.0%	66.7%	—	56.3%	66.7%	66.7%
総数	78.2%	58.7%	58.9%	59.0%	70.6%	56.0%	61.8%

一戸建て住宅の敷地内で駐輪している際に無施錠で被害に遭うことが多い。また、10代は、いずれの場所に駐輪する場合にも無施錠であることが多い。

# 令和5年中の刑法犯(主な罪種)と新型コロナウイルス感染症による行動制限との関係

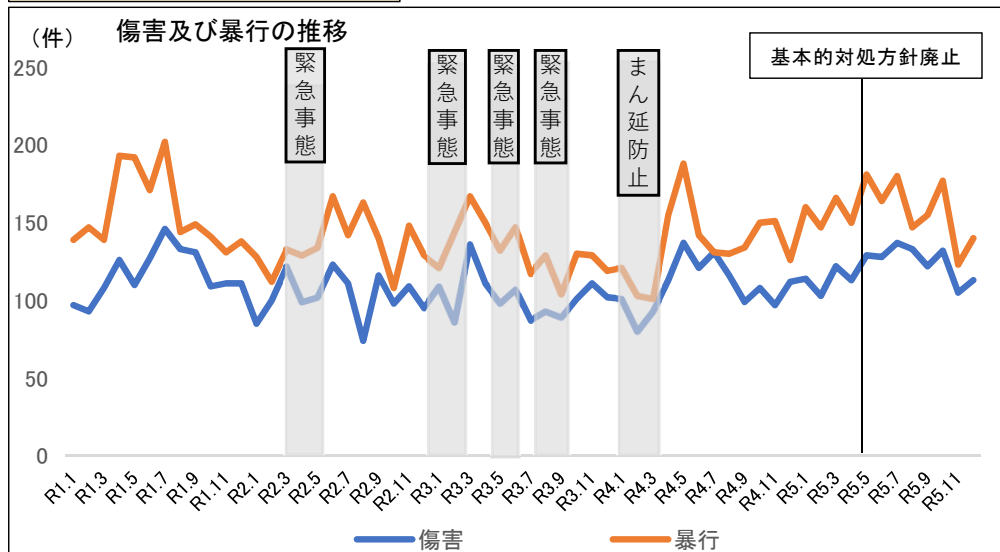
令和6年2月  
生活安全総務課

## 1 傷害及び暴行の認知件数と被害場所の変化



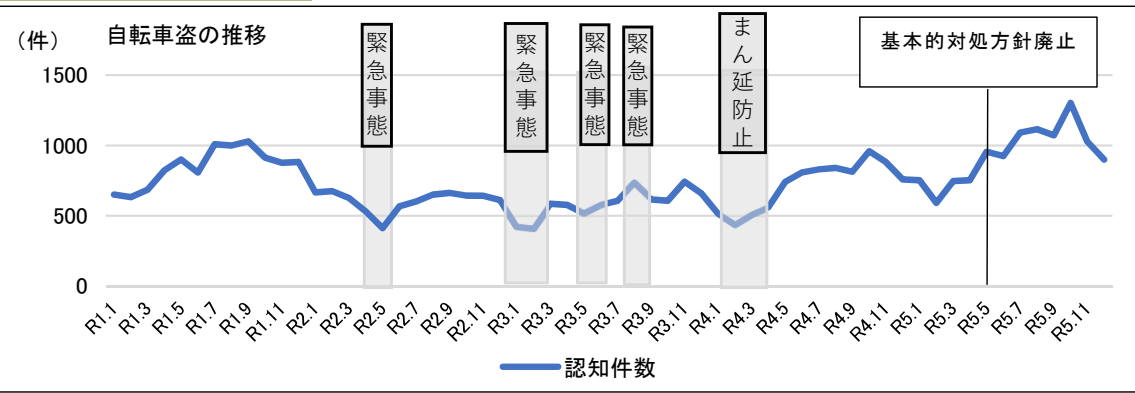
令和5年は傷害の被害場所における住宅の割合が5.7ポイント減少し、路上の割合が0.7ポイント増加

## 2 傷害及び暴行の推移



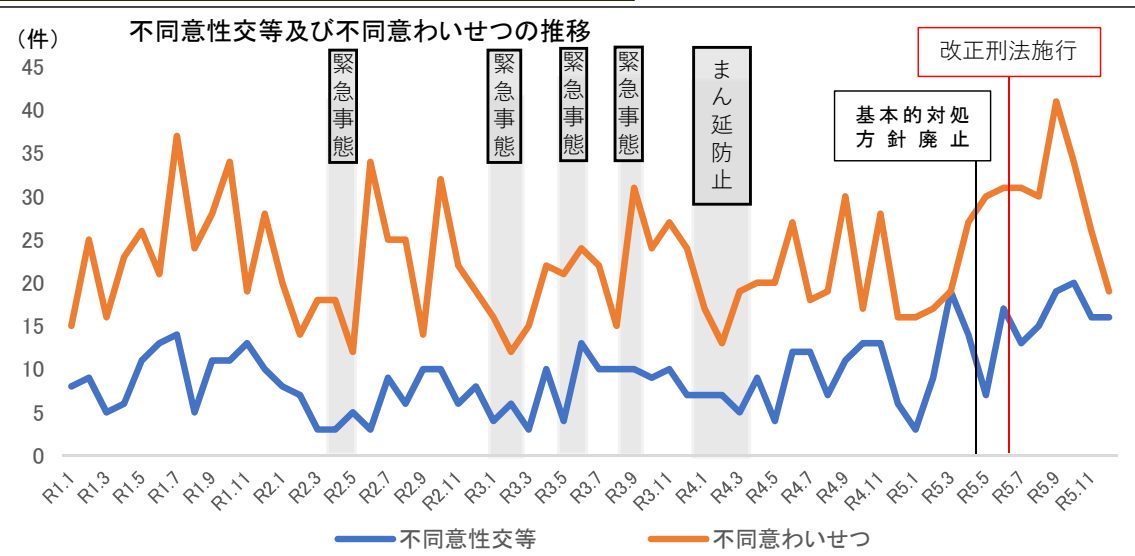
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための行動抑制が解除されて以降、被害は増加傾向にある。

## 3 自転車盗の推移



新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための行動抑制が解除されて以降、被害の増加が見られる。また、基本的対処方針の廃止以降は、令和元年と比較しても増加が見られる。

## 4 不同意性交等及び不同意わいせつの推移



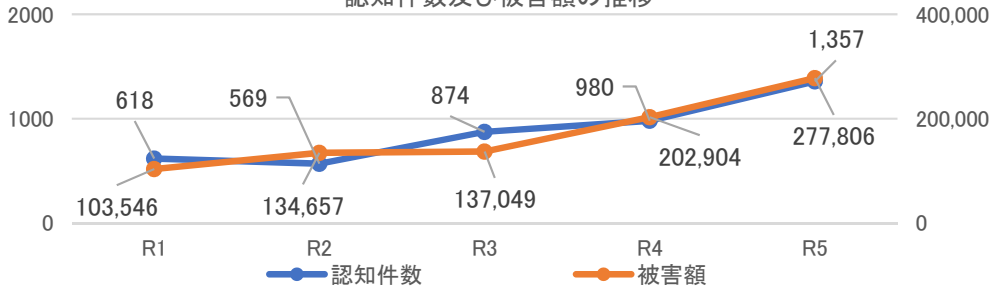
新型コロナウイルス感染症感染拡大のための行動制限による影響はそれほど大きくはない。一方で、令和5年7月の改正刑法の施行以降、認知件数が増加していることから、不同意の態様が示されたことにより、被害の申告をしやすくなったと思料される。

# 令和5年中の特殊詐欺被害の情勢

令和6年2月  
生活安全総務課

## 1 認知件数及び被害額の推移

認知件数及び被害額の推移



### 令和5年中の被害認知件数及び被害額

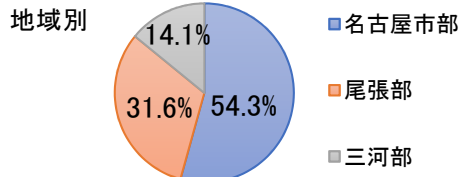
- (1) 認知件数 1,357件(前年比+377件、+38.5%)
- (2) 被害額 約27億7,806万円(前年比+7億4,901万円、+36.9%)

## 2 手口別被害認知件数

	オレオレ	架空料金請求	還付金	キャッシュカードねらい		その他
				預貯金	キャッシュカード詐欺盗	
R5	313	344	198	241	255	6
R4	212	185	204	84	288	7
増減比	101	159	-6	157	-33	-1
増減率	47.6	85.9	-2.9	186.9	-11.5	-14.3

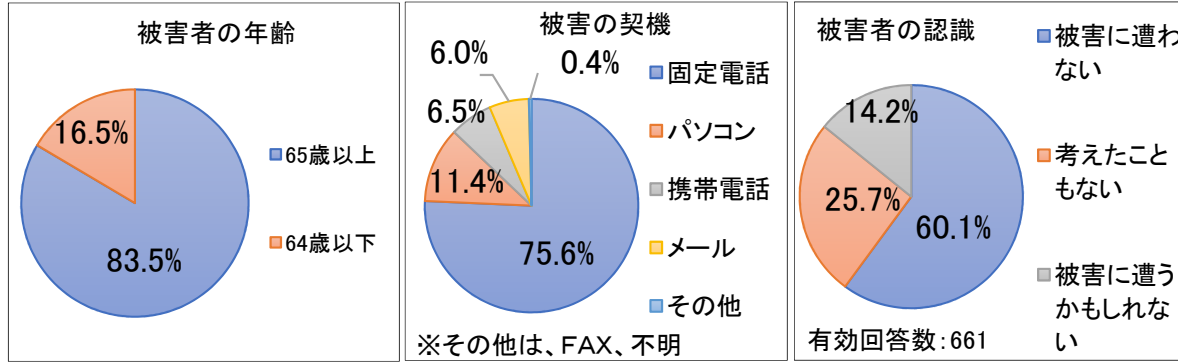
- (1) 預貯金詐欺は前年比157件、186.9%の増加  
※預貯金詐欺+キャッシュカード詐欺盗は前年比124件、33.3%の増加
- (2) 架空料金請求詐欺は前年比159件、85.9%の増加  
※料金未納148件、サポート144件、名義貸し28件、その他24件
- (3) オレオレ詐欺は前年比101件、47.6%の増加

## 3 地域別被害認知件数



地域別の被害の約5割(54.3%)は名古屋市部。次いで約3割(31.6%)は尾張部

## 4 被害の特徴



- (1) 被害者の約8割(83.5%)は65歳以上の高齢者
- (2) 被害の契機の約8割(75.6%)は固定電話
- (3) 被害者の約9割(85.8%)は「被害に遭う」とは認識していない

## 5 被害者の世代別と契機・手口の関係

※被害全体に対する各手口の割合を示す。

	固定電話	携帯電話(メール含む)	パソコン
～50代 (8.8%)	オレオレ 0.2% 架空料金請求 0.1% キャッシュカード詐欺盗 0.1% 金融商品 0.1%	オレオレ 0.3% 架空料金請求 5.2% 交際あっせん 0.1%	架空料金請求 2.0%
60代 (17.0%)	オレオレ 0.7% 還付金 7.7% キャッシュカード詐欺盗 0.4%	オレオレ 0.2% 架空料金請求 3.4% ギャンブル 0.1% 金融商品 0.1%	架空料金請求 4.3%
70代 (24.5%)	オレオレ 5.1% 架空料金請求 1.3% キャッシュカード詐欺盗 4.2%	架空料金請求 2.3%	架空料金請求 3.8%
80代 (45.0%)	オレオレ 15.3% 架空料金請求 0.9% キャッシュカード詐欺盗 13.1%	オレオレ 0.1% 架空料金請求 0.7% 還付金 0.1%	架空料金請求 1.3%
90代 (4.1%)	オレオレ 1.0% 架空料金請求 0.1% キャッシュカード詐欺盗 0.9%		架空料金請求 0.1%

※50代、60代にFAXが各1件(融資保証)がある。

※80代に不明3件(預貯金2件、キャッシュカード詐欺盗1件)、90代に不明2件(預貯金2件)がある。